THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2023(令和5)年
7月10日（月曜日） 千葉版 第15491号
昭和41年12月14日 第3種郵便物認可 ©日刊建設タイムズ社2023

日刊建設タイムズ

www.k-times.com
発行所 日刊建設タイムズ社
〒260-0854 千葉市中央区長洲1-33-15 タイムズビル
電 話 043-225-5911 ＦＡＸ 043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料 1か月 8,316円（うち税 616円）
6か月49,896円（うち税3,696円）

千葉エンジニアリング株式会社
徹底現地主義
ASK ME！
〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 2-1-31
TEL.043-244-2311 ホームページはこちら→

きょうの紙面

公共 成田市／調理場の整備 下総みどり学園を優先 2
公共 県土整備部長／圏央道と空港結ぶ新ＩＣ検討 2
公共 酒々井町／給食Ｃ移転 共同使用等方向性検討 2
公共 館山鴨川間高規格道路 ３市１町の連携強化を 2
業界 建災防県支部／労災防止大会に約250人出席 2
公告 鴨川市／(仮称)総合運動施設交流棟建築工事 8

県議会 県土整備常任委

アクア6車線化望む

新湾岸道で早期具体化推進

6月定例県議会の県土整備常任委員会が7日、県庁議会棟4階第8委員会室で行われた。池口正晃・県土整備部長は諸般の報告として、第1回新湾岸道路検討会準備会、第1回東京湾アクアライン交通円滑化対策検討会、第1回首都圏中央連絡自動車道（圏央道）大栄・横芝間連絡調整会議などの結果を説明した。宇野裕議員（自由民主党千葉県議会議員会）は、高規格道路の整備に関して「交通需要の増加に備えた丁寧な検討が必要」との見解を示し、「東京湾アクアラインの6車線化のほか、新湾岸道路や東京湾口道路の早期具体化を強く推進してほしい」と要望した。

全議案が可決された

高規格道の会議結果報告

横田彰洋・道路計画課長は、新湾岸道路における今後の整備プロセスについて「ルートと構造の具体化を進め、妥当性の確認・検証を行い、早期事業化に向けて沿線市や地域住民とコミュニケーションを図っていく」と話した。

東京湾アクアラインに関しては、22日から2024年3月31日にかけて「時間帯別料金」の社会実験を実施。結果を基に効果の調査・分析を進めていく。

圏央道大栄・横芝間では、機能補償道路（跨道橋）工事の入札不調などが発生。連絡調整会議において、24年度の開通が困難であることが示された。

小学校における通学路の一斉点検抽出結果に基づく安全対策の進捗状況について、709か所のうち、646か所で完了したと報告。残る63か所の状況に関する山本義一議員（自由民主党千葉県議会議員会）の質問に対し、花岡信明・道路環境課長は「交差点のコンパクト化など5か所を整備中」と説明。そのほかの58か所については「用地取得が必要な箇所であり、地権者との交渉を進めていく」と述べた。

跨線橋建設など 全会一致で可決

請負契約締結と条例の制定の2議案が全会一致で可決された。

「習志野都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線と東日本旅客鉄道線及び京成電鉄線との交差部における跨線橋の工事等の施行に関する委託（上部工）」の請負契約締結の相手方は、東日本旅客鉄道。工期は24年3月31日まで。契約金額は14億2062万6000円。

丸山慎一議員（日本共産党千葉県議会議員団）が契約金額の妥当性について質問。答弁に立った齊藤博美・道路整備課長は「一般県道船橋行徳線妙典橋整備事業の1㎡当たりの単価と比較したところ、約10万円の差額であったが、資材や労務単価の高騰を踏まえると妥当」と説明した。

また、二級河川一宮川流域の治水対策を強化するため、住民や企業による雨水貯留浸透施設の設置が促進されるよう、特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水貯留浸透施設などの標識の設置に関する条例を制定する。施行予定日は、10月1日。

古谷野克己・河川整備課長は、期待する効果について「水害に強いまちづくりを推進するとともに、耕地の宅地化や太陽光発電装置の設置が促進される」と応じた。

袖ケ浦市 市庁舎整備事業

中庁舎の改修完了

完成イメージ

袖ケ浦市は、市庁舎整備事業の第二段階に当たる、中庁舎の耐震補強および大規模改修工事が完了したと発表した。SRC造地下1階地上7階建て、延べ床面積6469・28㎡、1980年建築の既存庁舎の長寿命化を図るとともに、南庁舎・北庁舎と合わせて「ZEB Ready」を取得した。

7月中旬から約1か月で中庁舎への事務室の移転を完了し、8月中旬から12月にかけて、第三段階となる3階建て旧庁舎と旧議場棟の解体工事を進める。さらに、最終段階として、市民交流の場となる南庁舎の建設工事を2024年1月から9月まで行う。

設計施工一括方式による市庁舎整備事業は、大成建設千葉支店が請け負っている。事業期間は、19年12月17日から24年9月30日まで。請負金額は67億4881万9000円。

訃報

萱生社長が死去

㈱萱生工務店代表取締役の萱生冨二雄氏が6日、死去した。通夜式は13日午後6時、告別式は14日午前10時から、大網白里市富田14－2のアスカ大網法輪閣（電話0120－425－055）。喪主は萱生博文氏。

生光園が優秀工事

安全・丁寧な施工に評価

袖ケ浦市 23年度建設工事表彰

（左から）齋藤・現場代理人、齊藤代表取締役、粕谷市長

袖ケ浦市は7日、2023年度建設工事表彰式を市役所北庁舎2階市長室で執り行い、「舗装改良工事（市道中袖南袖線）（その1－1工区）」を施工した生光園をたたえた。粕谷智浩市長は「安全かつ丁寧、そして環境に配慮して仕事を行っていただいた。まさに、昨年度、市で執り行った工事で最も優秀だった」と評し、謝意を示した。

表彰式には、粕谷市長のほか、花澤一男副市長、今井辰夫・総務部長、子安富夫・土木建設課長、板井順志・管財契約課契約検査班長、生光園の齊藤典之代表取締役、現場代理人を務めた齋藤博之氏が出席した。

表彰の対象は、市内に本店または支店などを置く施工業者が表彰の前年度に完成させた設計金額500万円以上の建設工事。優秀または優良と認められる建設工事をたたえることにより、市内建設業者の施工意欲増進と施工技術の向上を目的としている。19年度から実施しており、今回で5回目。

工事成績評定80点以上の工事を「優秀建設工事」とし、該当がない場合には、75点以上80点未満のうち第1順位の点数の工事を「優良建設工事」とする。

生光園は、工事成績評定81点を獲得したことにより「優秀建設工事」で表彰された。

粕谷智浩市長 あいさつ

市の発展に尽力を

今回の工事現場は大型車両の通行が非常に多く、路面が傷んでいた。そのような状況の中、安全かつ丁寧、そして環境に配慮して仕事を行っていただいた。

まさに、昨年度、市で執り行った工事で最も優秀だった。

この経験を踏まえ、今後も市の発展に力をいただきたい。

齊藤典之代表取締役 コメント

建設業の使命果たす

自社の従業員を表彰していただいたことが何よりも嬉しい。今回の受賞は、担当課はじめ市の指導の賜物だと思っている。

協力業者と密にコミュニケーションを取り、明るい照明や健康への影響に配慮した改良材を使用するなど、新しい取り組みを評価していただいた。

われわれ建設業は、ライフラインを支える工事の施工はもとより、災害時には市や市民のために活動することが使命。

今回の表彰をモチベーションにつなげ、今後とも市に協力していきたい。

舗装改良工事（市道中袖南袖線）（その1－1工区）
株式会社 生光園／優秀建設工事

完成

■工事場所＝長浦地先ほか
■工期＝2022年8月4日～23年1月30日
■契約金額＝8222万2800円
■工事成績評定点＝81点

【工事概要】

国土強靭化計画に基づき、中袖南袖地区の重要な物流経路を担う、災害に強い道路を維持するため、舗装修繕と冠水対策を実施したもの。

▽延長＝401m▽幅員＝10m▽舗装＝路面切削（t6㎝以下）4132㎡、路面切削（t12㎝以下）3900㎡、基層3900㎡、表層4039㎡▽路上路盤再生＝3900㎡▽冠水対策街渠桝＝25か所

【受賞理由】

夜間施工を行う際に周辺企業との連絡調整を適切に行い、適正な施工管理および安全対策の下、事故なく現場を完了させた。

夜間施工時の安全な照度を確保するため、高照度照明車を導入するなどして施工面および安全衛生面における工夫を行うとともに、工事現場周辺においては路肩部の堆積物撤去や歩道舗装の修繕を行い、工事のイメージアップを図った。完成書類も適切に整理され、電子納品に意欲的に取り組むなど、他の工事の模範となる。

自然と共に生きる
株式会社 生光園
SEIKOUEN
代表取締役 齊藤 典之
〒299-0245 袖ケ浦市蔵波台 6-5-10
TEL：0438-62-4075 FAX：0438-62-4520
URL https://www.seikouen-garden.co.jp